

経営比較分析表（令和5年度決算）

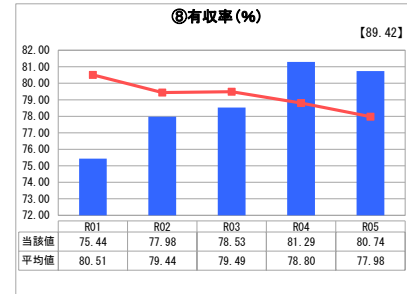
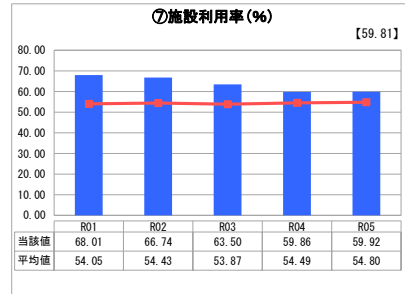
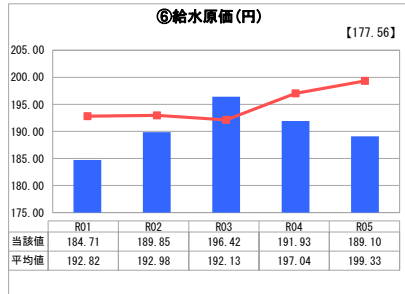
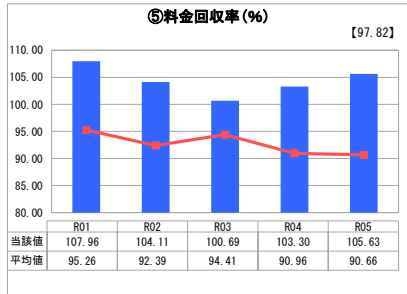
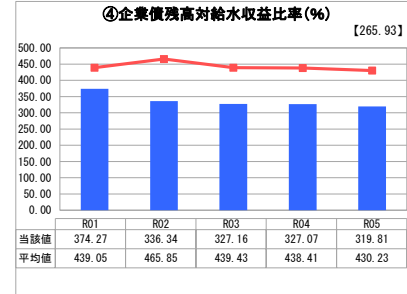
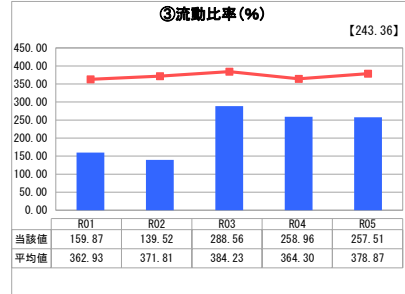
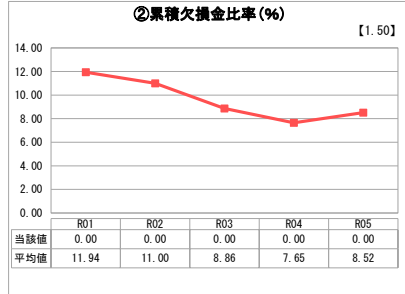
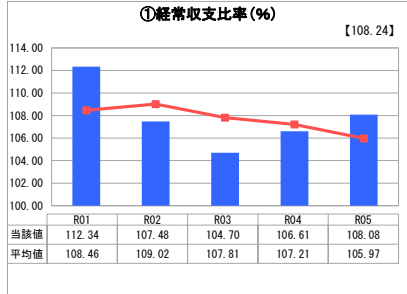
岩手県 山田町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	79.83	96.26	3,388	

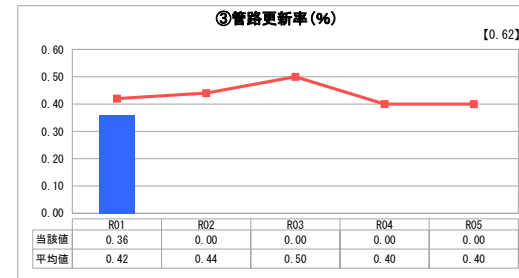
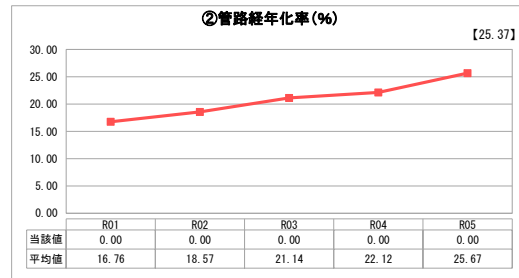
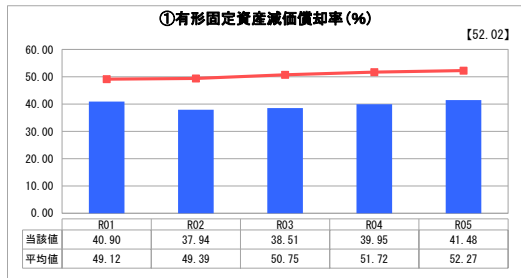
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,240	262.81	54.18
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
13,419	27.41	489.57

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
□	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
100%以上で推移しており、水道料金を主とする収益で維持管理費等を賄っている。給水収益が減少していることから、更なる経営改善に取り組んでいく。
- ②累積欠損金比率
0%であり、累積欠損金は生じていない。
- ③流動比率
100%を超えているが、類似団体平均値より低率であることから、流動資産を増やす対策が必要である。
- ④企業債残高対給水収益比率
年々減少しており、企業債の償還が進んでいる。
- ⑤料金回収率
100%以上で推移しており適切な料金回収を確保しているが、給水収益が減少傾向であることから、適切な料金水準の検討が必要である。
- ⑥給水原価
今後とも経費改善に努めてゆく。
- ⑦施設利用率
類似団体平均値を超えているが、給水人口の減少などに伴う配水量の減少により、年々利用率が下がる傾向にある。
- ⑧有収率
漏水の調査及び修理により有収率は向上の傾向にある。類似団体平均値を上回っている。今後とも漏水対策に努めていく。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
類似団体平均値及び全国平均値より低率であり、耐用年数に近い資産が少ないことを示している。
- ②管路経年化率
類似団体平均値及び全国平均値より低率である。
- ③管路更新率
管路経年化率は低率であるが、管路の耐震化を進めていく必要がある。

全体総括

全体的に経営の指標は、概ね健全な数値である。しかし、人口減に伴う給水収益の減少及び物価の上昇に伴う経費の増加により、今後は経常収支の悪化が見込まれる。現在の水道経営戦略について中間見直しを行い、適切な料金収入の確保及び経営改善に努めていく。